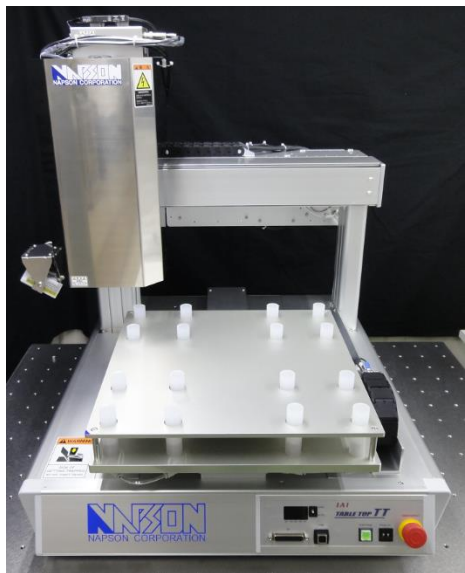


Model : CRN-100

非接触式（コロナ放電法） 超高抵抗レンジ シート抵抗測定システム



ナプソン：CRN-100は、コロナ放電法により、

**超高抵抗 シート抵抗レンジ：
10⁹ ~ 10¹⁵ ohm/sq**

を、非接触で高精度・高再現性での測定を可能にした、画期的な非接触シート抵抗測定システムです。

測定部は、コロナチャージャーと表面電位検出器で構成されており、測定部～サンプルのギャップ：2mmで非接触測定を実施します。

非接触での超高抵抗シート抵抗測定を可能にした、 画期的な測定システム

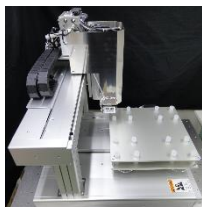
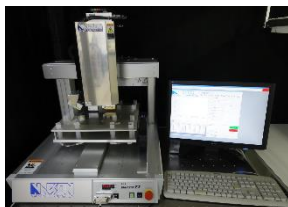
機能・特長

- ・ 超高抵抗レンジ：10⁹ ~ 10¹⁵ ohm/sq を非接触で測定
- ・ 面内マルチポイント測定機能
- ・ 2-D/3-Dマッピング画像表示
- ・ Windows 7 対応の専用ソフトウェア
- ・ 測定データはCSVファイル形式で出力可能

<コロナ放電法>

(山形大学・杉本先生 共同開発)

【特許番号5510629取得】



測定対象

※抵抗測定レンジ内のサンプルであれば、原則として測定可能

- ・ 超高抵抗薄膜サンプル (a-Si, IGZOなど)
- ・ 絶縁に近い半導体材料
- ・ 導電性ゴムなど

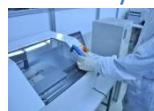
*デモ測定可能ですので、ご相談下さい。

対象サイズ

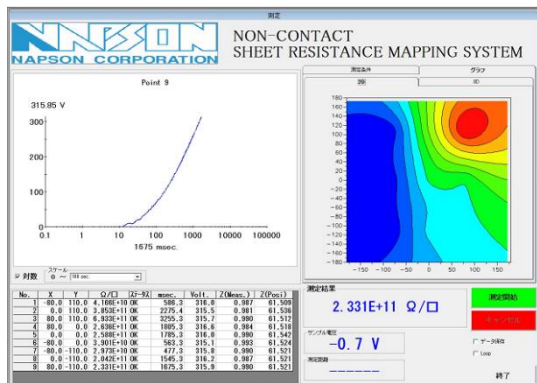
サイズ： ~ 300x400mm

厚さ： ~ 2mm

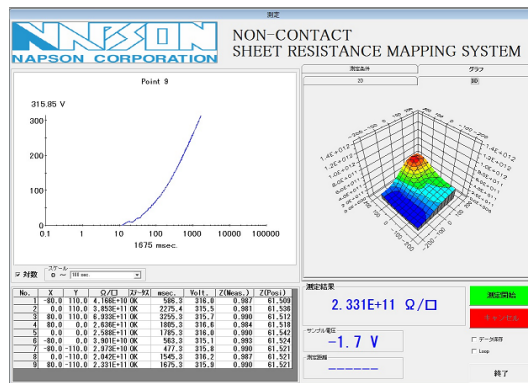
*サイズ対応など、ご要望のカスタマイズ対応が可能です。ご相談下さい。



ソフトウェア：測定画面

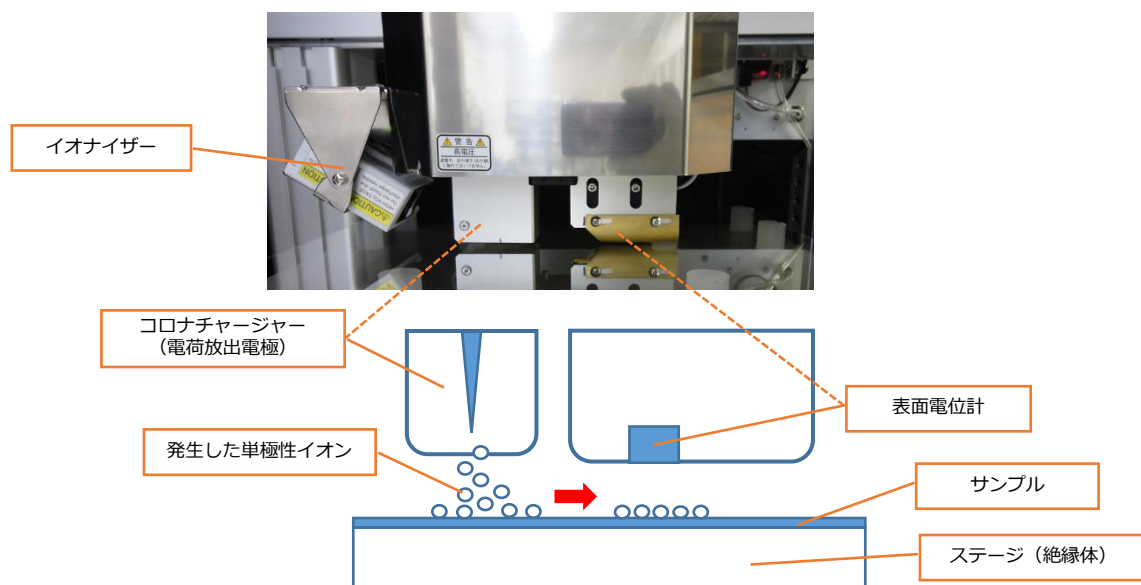


2-D マッピング表示



3-D マッピング表示

測定原理（概要）：コロナ放電法



1. コロナチャージャーから、単極性イオンが発生[測定開始]。
2. 発生した単極性イオンは、サンプル表面に局部的に付着していく。
3. その帯電電荷が、サンプル表面の高電位の場所から低電位の場所へと移動していく。
4. 表面電位分布（帯電電荷の移動時間）を、表面電位計で検出する。
5. 表面電位分布は表面抵抗に依存するため、表面電位を非接触で測定することで表面抵抗を推定することが出来る。

本原理の特長は、下記の3点です。

1. 非接触のため、サンプルの表面状態の影響を受けにくい。
2. " "、サンプルの表面にダメージを与えない。
3. " "、接触抵抗の影響を受けない。

☆弊社ウェブサイトにも本製品のムービーを掲載しております。[リンク](#)よりご覧ください。

- 詳細のお問い合わせは下記までご連絡ください。
- 実機でのサンプル測定が可能です。お気軽にご相談下さい。
- 記載の仕様および外観は、予告なく変更する場合がございます。